

「国際協力カレッジ2021」のお申し込み方法

受付期間:
2021年11月12日(金) 13:00~12月7日(火) 15:00
 *但し、定員70名になり次第、締め切ります。

【申し込み方法】

ウェブサイト上のイベント専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。自動返信にて、オンラインイベント(ZOOM)のリンク先をお知らせします。自動返信メールが届かない場合は、迷惑メールボックスに入るケースもありますのでご確認し、届いていない場合は事務局までご連絡下さい。

イベント専用URL・QRコードはこちら
<http://nangoc.org/information/college2021.php>



*ウェブサイトをご覧になれない場合:以下の項目①~⑧をメールでお送りください。その際、タイトルは「国際協力カレッジ2021 参加申込」としてください。原則、1週間以内に返信をいたします。お電話の場合は口頭でお伝えください。

①お名前(ZOOMイベントの表示名) ②ご所属(あれば) ③年代(任意) ④お住まいの市町村 ⑤電話番号(携帯可) ⑥E-mail ⑦このカレッジに期待すること ⑧どこでこの情報を知りましたか?(複数回答可。できるだけ詳しくお知らせください)

*いただいた情報は、本件イベント以外に使用いたしません。但し、本件フォローのため、主催者よりメールをお送りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2丁目3番地 YWCAビル7階
 TEL:052-228-8109 (電話受付時間:火~金曜 13~17時)
 E-mail:info@nangoc.org <http://www.nangoc.org>

▼イベントの専用リンク先アドレス(ZOOM)について

- ① 専用フォームからのお申し込みには自動返信にて、またメールでお申し込み頂いた方には、原則、お申し込み後一週間以内に、イベントのリンク先のアドレス、ID、パスワード(ZOOM)をお送りいたします。万一、1週間以内にメールが届かない場合はご一報ください。
- ② イベントの「リンク先アドレス(ZOOM)」、ID、パスワードについては、セキュリティ上、他者への共有・転送はお控えください。(イベント自体の広報・共有・転送は大歓迎です)
- ③ ZOOMの設定方法などの詳細につきましては、受付確認メールにてお知らせいたします。パソコンやスマホなどの操作方法や参加者側の接続環境の不備に対するフォローはできかねます。事前にご準備をお願いします。

▼お問合せ・キャンセル・イベントの変更等について

- ① 定員がございまして、キャンセルされる場合は、できるだけお早めにご連絡ください。(当日は連絡が混み合うことが予想されますので、当日のキャンセル連絡への即時返答は難しくなります。予めご了承下さい。)
- ② 万一、イベント内容やリンク先などの変更があった場合は、ウェブサイトへの掲載や登録いただいた連絡先にご連絡する場合がございます。ご参加される前にチェックをお願いいたします。
- ③ 後日、イベントの録画記録や使用した資料をお送りすることはできませんので予めご了承下さい。
- ④ ご不明な点がございましたら、事前にご連絡下さい。当日のお問合せについては混み合うことが予想されますので対応が難しくなる場合があります。予めご了承下さい。

~国際協力を学び、行動するキッカケをつかもう!~ 国際協力カレッジ2021

参加費
無料!

どんな人が
「国際協力」で
働いているの?

ソーシャルビジネスで
国際協力が
できるの?

「NGO」や
「JICA」って
何をしているところ?



そんな疑問を「カレッジ」で解決しよう!

「いま」動かなくて、いつ動く?

さあ、一歩前へ踏み出そう!

世界のために。そして、自分のために。

ヒトから学ぶ 1時間目 (13:20~14:50)
 NGO、JICA、ソーシャルビジネス
 それぞれ3人のセンパイから
 「国際協力の仕事」を学ぼう

活動を知る 2時間目 (14:40~16:10)
 多様なNGOの活動から
 SDGsを考えよう!

●日時:
 2021年**12月11日(土)**
 13:00~17:00 ※オンラインの接続・入出は
 12:30~13:00にお願いします

●方法: オンライン(ZOOM)
 ●定員: 70名(先着順)
 ●対象: 国際協力分野に関心がある人
 (部分参加ではなく半日通しでご参加下さい)
 ●参加費: 無料

<イベントのQRコード>
<http://nangoc.org/information/college2021.php>



●主催: 独立行政法人 国際協力機構 中部センター (JICA中部) ●事務局: 特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター

*この紙は再生紙を使用しております。

見て、触って、体験して。
 世界の「今」と「未来」にあなたも参加しよう!
 なごや地球ひろばは、国際協力やSDGsについて
 学ぶことができる体験型施設です。

食のゾーン

カフェ クロスロード

アジア、中東、アフリカ、中南米など、世界各国のお料理をお楽しみいただけます。海外旅行がお好きな方におすすめです!

買物ゾーン

meets

コーヒーやチョコレート、雑貨など、フェアトレード商品が購入できるショップ。買い物を通じた国際協力ができる場所です!

体験ゾーン

企画展・パネル展 「セカイ+栄養」

世界が抱える栄養問題について、JICAの取り組み、また、JICAが国際機関や民間企業、自治体、NGOと連携しながら実施する協力を紹介します!

アクセス: 名駅・ささしま/名古屋駅から徒歩13分
 期間: 10:00~17:00
 休館日: 月曜・年末年始
 (祝日の場合は開館、翌平日が休館)
 ※現在、なごや地球ひろばは、時限を超過して開館しています。
 最新の開館情報はウェブサイトをご覧ください。

～国際協力を学び、行動するキッカケをつかもう!～

国際協力カレッジ 2021

「国際協力カレッジ」は、国際的な課題に関心を持つ人びとが、国際協力の現場の声に触れ、考え、動き始める「学び」と「きっかけ」の場です。名古屋NGOセンターとJICA中部との協働により、2006年にスタートし、今年で16回目になります。



写真提供：松浦史典 / 認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構

活動を知る

多様なNGOの活動から、SDGsを考えよう!
「今日からスタート! 国際協力はじめの一步」

2時間目 14:40～16:10 (90分)

NGOの活動とSDGsはつながりがあります。
多様なNGOの活動内容を聞き、自分の興味・関心を深め、自分にできることを見つけましょう。



目標1 貧困をなくそう

(特活) アイキャン

アイキャンは、一人ひとりの「できること」を持ち寄り、貧困・紛争・災害による影響を受けた子どもの能力向上や地域の環境改善に取り組む国際協力NGO。人々と「ともに」活動することを大切にしており、現在はフィリピン、ジブチと日本国内で活動を行っている。



目標3 すべての人に健康と福祉を

(公財) アジア保健研修所(AHI)

アジアのNGOワーカーを対象に参加型の研修を行っている。同時に日本人を対象として、社会のさまざまな問題について理解を深め、学び合う、参加型・体験型の交流イベントや学習会を行っている。



目標4 質の高い教育をみんなに

(特活) キャンヘルプタイランド

東南アジアのタイやカンボジアの貧困地域に暮らす子ども達の教育環境の改善に取り組む団体。おもな活動内容は、奨学金授与・教室棟や図書館の建設・学校給食支援・学生寮の支援・図書支援など。日本のスタッフはすべて無給ボランティアで運営。



目標4 質の高い教育をみんなに

(特活) ル・スリール・ジャポン

西アフリカの仏語圏で「学びの場の環境向上、構築」活動を通じて、関わる人々の笑顔(ル・スリール)に寄与できる活動をしている。治安情勢の不安定な地域や辺境地域で取り残されがちになる方々に近い距離で活動できる団体になることが目標。



目標6 安全な水とトイレを世界中に

認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構

安全な水の供給と衛生教育を軸に、アフリカや東南アジアの最貧困地域にて自立支援活動を行なっている。国内では、講演などを通じて当団体の活動や認知を広め、支援者を増やすためのチャリティー活動をメインに活動している。



目標13 気候変動に具体的な対策を

(特活) イカオ・アコ

フィリピンのネグロス島とボホール島で、マングローブの植林をはじめ、安全な水の供給事業等の環境保全活動を行っている。団体名「イカオ・アコ」は、現地の言葉で「あなたとわたし」。日本人とフィリピン人の協働によって、持続可能な社会実現を目指している。



目標16 平和と公正をすべての人に

(特活) セイブ・イラクチルドレン・名古屋

イラク人医師を愛知県内の病院に研修招へいて、学んだ医療技術を自国で活用してもらっている。医師らには日本滞在中に取材・講演等に取り組んでもらい国際交流を図っている。2020年2月以来招へいは困難になっているが、衛生物資支援という形で活動を継続している。



目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

(特活) 名古屋NGOセンター(外務省NGO相談員)

貧困・紛争・環境破壊などの地球規模の課題を解決するために、市民が主体となり取り組む活動を支援している。加盟NGO(42団体)とともに市民への情報発信、政府への政策提言、NGOの人材育成などをを行っている。NGO・市民・行政・企業などからの相談に応じる。

16:10～16:15 (5分)

休憩

3時間目 16:15～16:50 (35分)

全体会・ふりかえり *グループワーク(ブレイクアウトルーム機能を使用予定です)
【ファシリテーター:ココアゴラ 代表 市野将行】

4時間目 16:50～17:00 (10分)

閉会のあいさつ 【(特活)名古屋NGOセンター常務理事 戸村京子】
アンケートについて・今後の告知

*プログラムは予定となります。万一、変更があった際はご容赦ください。

「国際協力カレッジ2021」の概要

前半は国際協力の現場で働いている先輩3人の話を聞きます。
後半は、SDGsについて理解を深め、中部地域にて活動中のNGOによる「活動紹介」を行います。年に一度の機会です。コロナ禍で、これからのことをじっくりと考える機会がある「いま」だからこそ、このイベントで、あなたに合った国際協力との多様な関わり方、働き方を見つけてみてください。

プログラムの内容・スケジュール

13:00～13:05 (5分)	開会のあいさつ 【JICA中部 市民参加協力課 課長 酒本和彦】
13:05～13:20 (15分)	オープニング(プログラムの説明、注意事項、アイスブレイキング) 【ファシリテーター:ココアゴラ 代表 市野将行】

ヒトから学ぶ


講義 「誰ひとり、取り残さない」世界を実現するために
国際協力で働く～仕事としてのNGO、JICA、ソーシャルビジネス～

1時間目 13:20～14:30 (70分)

3人の先輩の話を聞き、自分の将来を描こう! 国際協力を仕事にすることの楽しさ、魅力、やりがい、苦労、そして関わり始めたきっかけなどをお話します。(チャットにて質問を受け付け、質疑応答の時間を設けます)


★ゲスト

NGO
こんどう しもん
近藤史門さん
認定NPO法人
ピースウィンズ・ジャパン
コミュニケーション部 カメラマン



在学中のボランティア経験などを通して国際協力で興味をもち、NGOの道に進むことを決意。新卒で就職した名古屋のNGOを通して約3年間エチオピアに駐在し、僻地コミュニティでの水供給と保健衛生事業に従事する。事業地で撮影した写真や映像を用いた広報経験を生かし、昨年10月より現職団体に専属のカメラマンとして入職。

JICA
きたぐち よしのり
北口喜教さん
JICA中部
研修業務課兼市民参加協力課
主任調査役



2009年JICA入構、運輸交通分野の部署に配属。2011年からは国土交通省三陸国道事務所に出向。その後スーダン事務所、インフラ整備関連の部署、フィリピン課を経て、2021年9月からJICA中部に配属。現在は研修業務及び市民参加協力業務を担当。

ソーシャルビジネス
いけみや きよみ
池宮聖実さん
moily 代表



2010年～2011年にアジア、中東、アフリカ、南米などを単独で周り、貧困地域でボランティアを行う。現地で作事をすることの重要性に気がつく。2014年カンボジアのシムリアップに拠点を構え、農村に住む人々と共にかご作りの仕事を始める。翌年日本にてmoilyを立ち上げる。岐阜県在住。

14:30～14:40 (10分)

休憩 <SDGsについて理解を深める動画を配信します>

すずき じゅんこ
鈴木 淳子さん



アパレルデザイナーだった頃、ファッションの問題と同時にフェアトレードで解決出来る事を知り、国際協力に関心を持った。現在フェアトレード商品等のデザインをしている。

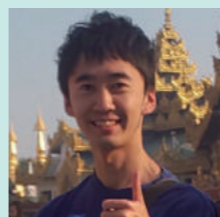
友人に誘われ、日本に居ながら国際交流が出来る団体を探す為に参加していました。「国際協力カレッジ」には想像以上に多くの団体があり熱気も溢れていました。私はイラク人と言えば怖そうとさえ思っていたくらい無知で無関心でしたが、「セイブ・イラクチルドレン名古屋」という団体に参加し、イラク人ドクター達と出会いイ

メージは180度覆りました。イラク人ドクターは皆、優しく明るく聡明な方ばかりで、活動に参加する度に団体の素晴らしさに気付き、イラクにも興味が湧き、なんと実際に現地の難民キャンプも訪問しました。国際協力カレッジがきっかけで沢山の素敵な方々と出会えた事大変感謝しています。

参加者の声

過去の「国際協力カレッジ」に参加し、そこで出会ったNGOで活躍している元参加者の声です。

ぬし ゆたか
塗師 悠さん



国際協力カレッジへの参加をきっかけに、「アイキャン」のボランティアとして活躍。学生時代、アジアの国々を周り、現在は仕事と両立してボランティア活動に励んでいる。

大学で国際福祉を専攻し、海外ボランティアによく参加していました。災害で両親を失ったこと、学校に行けなくて困っていたことを聞いた時は衝撃で、何か手助けしようと思いました。ただ何をすればよいかわからなかった時、「国際協力カレッジ」に参加し、小さなことでも自分にできることを始めようと声をかけてくれたのがアイ

キャンです。募金活動や事務作業を中心に取り組んでおり、それが子どもたちの支援に繋がっていることに、とてもやりがいを感じています。小さな事でも良いので、考えるより行動することが一番だと思います。誰かの役に立ちたいと考えている方はぜひ参加することをお勧めします。